

# アジアで がんを生き延びる

人類の進歩にとって  
がんはどんな意味をもっているのか。

正解のない問いである  
人類の難問としての  
がんへの自らの問いを立てることは  
混沌としたアジアの現実と向き合う  
対話の回路をもつことである



- 10月 9日 〈全体ガイダンス〉[初回のみ 伊藤国際学術研究センター3階 特別会議室で開催となります]  
アジアに生きる私たちの未来に がんは何をもたらすのか?  
赤座英之 [東京大学先端科学技術研究センター 特任教授]
- 10月16日 アジアのがんの全体像をつかむ  
井上真奈美 [東京大学大学院医学系研究科 特任教授]
- 10月23日 アジア経済の潮流から考える  
河合正弘 [アジア開発銀行研究所 所長]
- 11月 6日 高齢者社会というアジアの未来  
辻 哲夫 [高齢社会総合研究機構 特任教授]
- 11月13日 アジアの癌治療最前線  
西山正彦 [日本癌治療学会 理事長]
- 11月20日 日中韓製薬企業の課題  
ハンス・オーケ・ヘンリクソン [ブラッコエーザイ株式会社 代表取締役社長]
- 11月27日 がんをめぐるアジアの死生観と向き合う  
清水哲郎 [東京大学大学院人文社会系研究科 特任教授]
- 12月11日 日本・アジア・アメリカ 国際社会を生き延びる  
藤崎一郎 [上智大学特別招聘教授・前米国駐劔特命全権大使]
- 12月18日 アジアのいのちをつなぐ食 がん予防食を考える  
服部幸應 [学校法人服部学園理事長]
- 1月 8日 世界の中の日本 アジアとどう向き合うか  
笹川陽平 [日本財団理事長]
- 1月15日 アジアのがんを構造化する  
堀井秀之 [東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授]
- 1月22日 〈ワークショップ〉がんという難問から アジアの未来を構想する



参考図書

アジアでがんを生き延びる  
赤座 英之 / 河原ノリエム 編  
東京大学出版会 2013年4月刊

# アジアでがんを生き延びる ～地域文化研究特別講義 II～

Surviving Cancer in Asia

科目番号 Course ID Number	31M220-1324S、31M220-1324W (修士 master) 31D220-1324S、31D220-1324W (博士 doctor)	使用言語 Language	日本語 Japanese
責任教員 Schools	赤座英之(先端研) Hideyuki Akaza (RCAST)	講師陣 Lecturers	赤座英之、河原ノリエ、増井徹、井上肇、堀江重郎、高橋悟(モデレーター)
場 所 Venue	医学部教育棟第1セミナー室(2階) 伊藤国際学術研究センター 特別会議室(10月9日のみ)	キーワード Keywords	グローバルヘルスアジェンダ、国際共同治験、超高齢化社会、歴史認識、癌研究国際戦略 Global health agenda, International clinical study, Super aged society, Understanding of history, Strategic investigation on comprehensive cancer network
授業計画 Schedule	様々な領域の第一人者である外部講師を招聘して、オムニバス方式で、がんを社会の中でどのようにとらえるかという思索を重ねる。高齢化社会、死生観の多様性、医療格差を乗り越える社会的正義など、社会構造の転換期にあるアジアが抱える様々な今日的な課題が、浮かびあがってくるような構成となっている。他大学との交流授業も予定している。		
授業時間 Semester/Time	通年、水曜日、6限(18:30-20:00) All year, Wednesday	履修上の注意 Important points concerning enrollment	成績は、レポートと授業への参加の積極性によって総合的に評価する。夏(2単位)・冬(2単位)、それぞれ単独で履修も可能。大学院生以外の聴講も可能(事前登録必要)
授業内容 The contents of a lesson	感染症から非感染症へ疾病構造が変容する中、アジアにおけるがんは急増している。がんという病には、遺伝的素因や生活習慣など、長い時間軸の中でのひとのくらしの営みや文化が色濃く影を落としている。これまでアジアは、医療水準、医療者、患者の価値観もまちまちで、データも単純比較できず、連携が難しい地域であった。経済成長著しい一方、未だにこの地域に横たわる、歴史的負債は大きく、グローバリズムとナショナリズムの「ねじれ」が先鋭に浮かび上がる地域である。アジアのがん医療における、新規薬剤開発や安全かつ有効な治療法の開発などを旨とする「総合癌研究国際戦略推進」寄附研究部門は、その活動の一つとしてがんという共有課題を乗り越えることで、この「ねじれ」を克服していくことを目指し、がんをグローバルヘルスアジェンダにすることなどの政策提言活動を行ってきた。がんは政治、経済、文化など、様々な課題と密接にかかわっている病である。それぞれの領域の第一人者に、アジアのがんに纏わる問いを投げかけ、日本がアジアとどう向き合うべきなのか、対話の回路としての語りを重ねたいと考えている。		

Against the backdrop of a global transformation in the structure and nature of disease, with focus shifting from infectious diseases to non-communicable diseases, cancer incidence in Asia is rapidly increasing. Cancer is a pernicious disease that develops over a long period of time, affected by genetic factors and lifestyle choices. It is a disease that casts a long, dark shadow over human culture and activities. To date in Asia there has been great divergence in medical standards, and also in the values of physicians and patients alike. What is more, data from Asian countries is not immediately comparable, making cross-border cooperation and information sharing difficult. While on the one hand Asia is experiencing astonishing economic growth, there are still historical legacies that pervade the region and a stark disjoint between globalism and nationalism can also be perceived. The Department of Strategic Investigation on Comprehensive Cancer Network aims to develop new drug therapies as well as safe and effective methods of treatment for cancer in Asia. The Asia Cancer Forum is based in this department and is engaged in efforts overcome the regional disjoint in Asia by promoting joint action on common issues. We are accordingly engaged in various policy proposal formulation activities, aimed at achieving the inclusion of cancer on the global health agenda. Cancer is a disease that is closely related to various challenges and issues, which are variously political, economic and cultural in nature. In this course we aim to direct questions relating to cancer in Asia to leading figures and create a forum for dialogue on how Japan should engage with Asia in fighting cancer.

## 講義は本郷キャンパス



## 東京大学先端科学技術研究センター

「総合癌研究国際戦略推進」寄附研究部門  
赤座英之研究室

〒153-8904 東京都目黒区駒場 4-6-1

駒場リサーチキャンパス 先端研 4号館 6F

講座・聴講などへのお問い合わせは、  
担当 河原 までお願いします。

Tel: 03-5452-5314, Fax: 03-5452-5343

[norie.kawahara@med.rcast.u-tokyo.ac.jp](mailto:norie.kawahara@med.rcast.u-tokyo.ac.jp)